

平成 23 年度第 1 回 (4 月) 理事会 議事録

日 時：平成 23 年 4 月 14 日 (木) 18:30 ~ 20:00

会 場：社団法人 大阪府臨床検査技師会 事務所

出席者：今井、運天、竹浦、吉本、高田、大垣、清水、井戸田、田畑、山田、宮野、酒井、栗本、山西、出野、杉山、増田、栗本監事、事務(出口)

欠席者：山中監事

議 長：今井

【 討議内容 】

・ 行動報告 (3 月分)

別紙参照

・ 経過報告

1. 日臨技

- ・ 3 月 19 日 東日本大震災の義捐金募集について協力依頼があった。当義援金は、各都道府県単位でまとめて日臨技へ送金し、会員相互の扶助を目的として使用される。大臨技としては、大臨技ホームページに当件について掲載し義援金を募集することとした。
既に、当震災により日臨技会員 1 人が亡くなられた。
- ・ 3 月 26 日 平成 22 年度第 2 回定期総会 (平成 23 年度予算総会) が開催された。(内容は経過報告欄)

2. 近臨技

- ・ 3 月 5 日 ~ 6 日 第 21 回近臨技形態検査部門血液検査分野研修会が京都で開催された。
- ・ 3 月 6 日 第 2 回近臨技あり方検討会が開催された。4 月 16 日引き続き審議する事となった。
- ・ 3 月 20 日 理事会が開催された。
第 50 回近畿医学検査学会剰余金 200 万円の内 100 万円を、東日本大震災被害者の支援金として日臨技経由で寄贈し、残りの 100 万円を義援金として赤十字社に寄贈する事に決まった。
平成 23 年度事業計画案・予算案は提案どおり承認された。
第 2 回近臨技あり方検討会 (3/6) の提案を受け名称等について検討したが、4 月 16 日の臨時理事会で継続して審議することとなった。
近畿各技師会総会で新たな近臨技設立についての承認を得ることで合意した。
4 月 16 日臨時理事会を開催する予定である。

3. 事務局

総務部 3 月 16 日に部会を開催した。

- ・ 大臨技総会について検討した。
- ・ 大臨技会員証について検討した。
- ・ 賛助会員への対応について検討した。既に、2 月末までの会費納入者には会員証を送付済みである。
- ・ 教育施設への対応について検討した。
- ・ 大臨技行事スケジュール管理について検討した。
- ・ 大臨技ニュース 3 月号を発行した。
- ・ 大臨技ホームページを更新した。

会計部 3 月 16 日に部会を開催した。

- ・ 月度収支計算書を作成した。
- ・ 公益事業予算案について検討を行った。

渉外部 3 月 15 日に部会を開催した。

- ・ 献血推進活動について反省を行った。
- ・ 子宮がん検診啓発活動の説明を行った。
- ・ 平成 23 年度事業計画および渉外部体制について検討を行った。

4. 事業局

組織情報部 3月17日に部会を開催した。

- ・ 技師長会の反省会を行った。
- ・ 平成 23 年度の部員役割分担を行った。
- ・ 平成 23 年度新入会員研修会の内容検討を行った。

地区事業部 3月5日に部会を開催した。

- ・ マタニティーカーニバル2011 について検討した。
開催日、場所：平成 23 年 6 月 25・26 日、大阪南港 ATC ホール
大臨技ニュース 5 月号にボランティア募集を掲載する予定である。
- ・ 会員交流会について検討した。
大阪府放射線技師会と合同で開催する方向で検討する。
- ・ 3 月 25 日 中央支部会が開催された。
- ・ 5 月 21 日 第 29 回自由集会は、「感染性廃棄物の適正処理について」のテーマで、大阪府環境農林水産部環境管理室事業所指導課 特性事務長の今泉氏に講演をしていただく。
南支部は 6 月 11 日、北支部は 7 月 9 日、同内容で自由集会を開催予定である。

学術部 3月8日に部会を開催した。

- ・ 学術部講演会に関して最終打ち合わせを行った。102 名の参加があった。
- ・ 新年度受付の業務等について検討した。

・ 他、報告

1. 日臨技の総会について（今井会長）

- ・ 3 月 26 日開催された。
- ・ 第 1 号議案の平成 23 年度事業計画案は反対、棄権、賛成と意見が分かれた審議となったが白紙委任が多数だった為、可決された。
- ・ 第 2 号議案の平成 23 年度予算案も同様に反対、棄権があったが可決された。
- ・ 第 3 号議案の一般社団法人移行案は可決された。
- ・ 第 4 号議案の定款改定案に関する議案は、委任状を含む出席者数が 4 分 3 に満たないため未決となり、5 月の決算総会に再上程されることとなった。

追加報告（運天副会長）

- ・ 第 1 号議案に対する近畿各技師会の賛否は、反対は大阪府・兵庫県・滋賀県、棄権は大阪府・京都府・福井県、賛成は和歌山県（奈良県は欠席）であった。
- ・ 当総会の委任状を含めた出席者数 36,602 名、白紙委任状数は 22,471 票（81.1%）で、議長に委任すると記名されたものが 2,867 票、議長以外の委任者を記名したものが 5,231 票であった。当日の総会にて空欄委任をどう取り扱うかが明記されていなかった点について、回収時に明記することを強く要望した。5 月に開催される第 1 回総会で空欄委任は会長委任として取り扱うとの話もあるが、通例では総会議長委任と解釈するのが妥当である。
- ・ 日臨技総研に関して、高田会長より今年の秋に設立されるとの報告があった。これに対し、当総研の設立費と運営費の詳細について質問したが、具体的回答は無かった。また、業界紙メディカルテストジャーナルには当総研についてフロア - から「もう少し、全体像を示して欲しい」と要望が挙がったとの記事掲載はあるものの資金面で質問があったことについては触れていなかった。
- ・ 兵庫県からの公益目的財産 12 億 2,400 万円の具体的な用途についての質問に対して、標準化事業として日臨技総研にて使う計画であるとの回答であった。

追加報告（今井会長）

- ・ 4月4日付日臨技会長から各都道府県技師会会長宛に、平成23年度第1回定期総会における委任状について、各会員に対し下記の通達をお願いしたい旨の公文書が届いた。
委任状に受任者名を記入する場合は、委任者名と受任者名の筆跡は同一人物であること。
本人の自著以外は無効となる。
受任者欄が空白の場合は、高田会長に委任したものと見なす。
受任者名を議長とした場合は無効となる。
この事を受け、会員に対し、白紙委任に関するお知らせを考慮したいと思う。

2. 教育施設懇談会報告（竹浦副会長）

- ・ 当会において、7月16日開催の「第8回大臨技教育セミナー」の内容（下記）について検討した。
開催日時：7月16日（土）14：00～17：.00、場所：関西医科大学附属滝井病院 6階臨床講堂（約230名収容）
教育講演は神戸常磐大学保健科学部医療検査学科教授の坂本秀生先生に依頼している。タイトルについては、当初の災害医療関連から「臨床検査とPOCT」に変更となった。
ワークショップについては、大阪大学推薦者は、製薬会社勤務者に依頼する予定。大阪医療推薦者は検査センター勤務者に依頼。日本医療推薦者は病院勤務者に依頼。近畿医療推薦者は、シスメックス勤務者に依頼。技師会推薦者は、大阪医大の大比良ひとみ氏に依頼した。

3. 臨薬協プロモーション委員会情報（大垣理事）

- ・ 1月28日開催の22年度プロモーション委員会についての報告および公正競争規約質疑応答集からの抜粋（接待の定義、NPO法人、寄付・広告・役務提供による協賛、広告の定義、リース、景品の配布、機器の入替等）についての説明があった。

4. その他

（今井会長）

- 1) 東大阪市保健所長からの衛生検査所制度管理専門委員の推薦について

前任者の大阪医大の村上氏が22年度で退任となり、今年度は大阪医大の上田氏が就任された。

- 2) 東北関東大震災義捐金募集について大臨技ホームページに掲載した。現在、数件の義捐金の入金がある。

- 3) 3月23日開催の大阪府地域医療推進協議会報告

「日本医療を守るための国民運動」決議は以下のとおり。

被災地における医療体制の確保万全を期すること

政府は、強い社会保障を実現するために国民皆保険制度を建議すべきである。

国民皆保険制度を崩壊させる医療ツーリズムに断固反対する。

医療への規制緩和を強要するTPP参加や至上原理主義に断固反対する。

一般の医薬品やインターネット販売規制緩和にも反対する。

- 4) 日臨技平成22年度優秀演題賞を、下記の当会会員および部が受賞した。

- ・ 阪南中央病院 喜舎場 智之 氏（阪南中央病院）

- ・ 大阪府臨床検査技師会 血液検査部門

（清水理事）

- ・ 看護師向け心電図勉強会の案内について

当会における他職種とのコラボ企画として、看護師を対象とした心電図勉強会（日時：4月28日（土）、参加費：1000円（会員・非会員ともに同額））の企画があるが、会場の収容人数の関係上、看護協会へは案内せず役員の職場において案内することとした。今後、他職種対象企画において、会場収容人数を考慮し、申込方法に事前登録制を採用するなど案内方法を検討する必要がある。

（吉本常務理事）

- ・ JAMTISの権限設定について

JAMTISの権限設定の変更について、役員数名から依頼があるが、その他、JAMTIS担当者の交代・

退任等あれば知らせてほしい。

議 題

1. 平成 23 年度第 1 回総会について（吉本常務理事）
 - ・ 当総会のスケジュール案について別紙資料をもとに説明があった。
 - ・ 日時、会場：5 月 26 日（木）19：00～20：30、大臨技事務所
 - ・ 会員からの提案事項提出期限は、5 月 5 日である。

2. 公益法人申請の事業区分について（運天副会長）

当件について、コンサルタント会社から事業のくくり方を 5 区分（公 1～4、他 1）にしたいとの下記提案があった。

 - 1) 公 1：献血推進活動等のキャンペーン
 - 2) 公 2：公開講座（府民講座等）
 - 3) 公 3：他職種が参加するような研修
 - 4) 公 4：精度管理等の事業
 - 5) 他 1：総合扶助など（会員交流会、新入会員の研修会、技師長会、職域区会）

当区分分けでは、平成 22 年度決算実績より公益事業の比率が 50%弱となる。
今年度の事業をこの 5 区分に当てはめてゆくこととした。

3. 日臨技定款変更案について（運天副会長）

標記議案は日臨技平成 23 年度第 1 回定期総会の第 5 号議案として再上程されるが、関連規程中「役員報酬規程」および定年に関する部分の削除が問題となっている。このため、次回理事会まで全理事が資料を熟読し、日臨技定款変更に対する大臨技理事会としての意見をまとめることとした。

4. 日臨技決算総会について（運天副会長）

日臨技平成 23 年度第 1 回定期総会（平成 22 年度決算総会）について、前議題にもあるように議案が変更されたため大臨技としては、大臨技所属の日臨技会員に対し、事情を説明し、再度、委任状を提出してもらうこととした。

次回理事会で当総会の対応を決定するため、その間、修正決議等があれば、メーリングリストを通じてディカッションをしてゆくこととした。

5. その他
 - 1) 協賛・後援許可申請が 2 件（下記）あり承認された。

事業の名称：第 61 回日本臨床化学会近畿支部例会より
主催団体：日本臨床化学会近畿支部
事業の名称：日本プライマリー・ケア連合学会第 25 回近畿地方会
主催団体：社団法人吹田市医師会
 - 2) 子宮がん啓発キャンペーンが延期になったため、後援許可申請書を再提出してもらうこととした。
 - 3) 看護の日（5 月 14 日（木））の詳細は決まり次第、メーリングリストにて案内する。